株式会社アスノ

2024年度 環境経営レポート

（対象期間:2024年1月～2024年12月）

®環境省
エコアクション21
認証番号0009910

発行日：2025年3月10日
改訂日：2025年3月25日

株式会社 アスノ

環 境 経 営 方 針

当社は、”建築・土木産業への貢献を通じて皆様と社会の繁栄を願う”会社として、建築等の資材の流通、施工を主とする事業活動において、省エネルギー、省資源、リサイクルの推進により、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を推進し、継続的に改善していきます。

１．　環境関連法規及びエコアクション２１の要求事項を遵守する

２．　二酸化炭素排出量の削減を推進する
（電気、ガソリン、軽油）

３．　廃棄物の削減及び再生利用を推進する

４．　水使用量の削減を推進する

５．　環境に配慮された製品の使用・提案を推進する

６．　従業員に対する研修等を通じて、環境経営方針や環境活動について周知徹底する

制定日：２０１３年5月２０日
改定日：２０２４年2月１４日

代表取締役　　廣瀬　忠士

取組の対象組織・活動

□組織の概要

（1）名称及び代表者名
株式会社 アスノ
代表取締役　廣瀬 忠士

（2）事業所及び所在地
本社・姫路営業所　〒672－8567　兵庫県姫路市飾磨区上野田2丁目10番地
神戸支店　〒650－0047　兵庫県神戸市中央区港島南町4丁目7番9
令和5年5月29日移転

大阪営業所　〒532－0011　大阪府大阪市淀川区西中島5丁目9番5号
NLC新大阪ビル6階

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　専務取締役　臼井 淳
担当者　管理部　松尾 信子
連絡先　079-233-0451　E-mail:matsuo@asuno-co.com

（4）事業内容
国土交通大臣許可（特 -4）第 24895 号
許可年月日　令和5年2月18日　許可有効期限　令和10年2月17日
土木工事業、造園工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、
塗装工事業、水道施設工事業
国土交通大臣許可（般 -4）第 24895 号
許可年月日　令和5年2月18日　許可有効期限　令和10年2月17日
建築工事業、屋根工事業、板金工事業、機械器具設置工事業、内装仕上工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
ガラス工事業、清掃施設工事業、熱絶縁工事業、大工工事業、防水工事業、建具工事業

（5）事業の規模
売上 10,032百万円 （2024年度実績）

	全社	本社(姫路営業所含む)	神戸支店	大阪営業所
従業員	73名	48名	15名	10名
延床面積	2,792.39㎡	2,394.31㎡	840.43㎡	145.99㎡
（うち倉庫面積）	1,954.99㎡	1,840.31㎡	220.0㎡	－

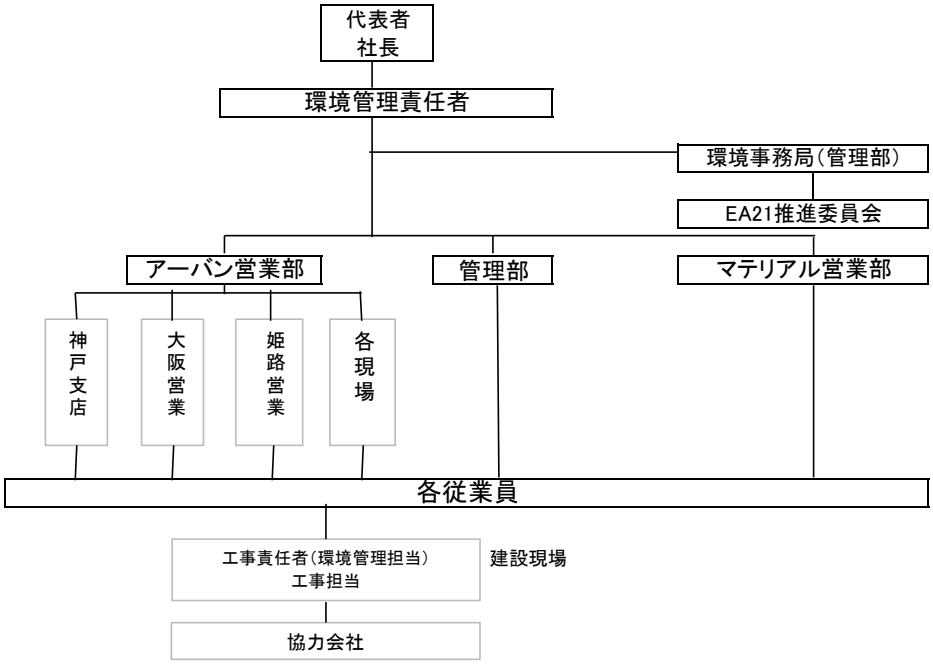
（6）事業年度
事業年度 12月21日～12月20日　活動年度 1月～12月

□認証・登録の対象範囲

登録組織名：　株式会社　アスノ
対象事業所：　本社・姫路営業所、神戸支店、大阪営業所

対象外：　なし
活動：　建築資材卸売、公園・フェンス等の工事
土木工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業
造園工事業、とび・土工工事業、塗装工事業
水道施設工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業
屋根工事業、板金工事業、機械器具設置工事業
タイル・れんが・ブロック工事業、ガラス工事業
防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業

株式会社アスノ　　実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成 （緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
エコアクション21推進委員会	・車両エコ活動（燃料費の削減、CO2の排出抑制、事故・違反運転の防止） ・環境エコ活動（再資源化のためのごみの分別、冷暖房の温度設定、社内清掃
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正・予防処置
工事責任者 （現場代理人）	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2018年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	338,292	326,968	357,368	341,867	315,972	331,159
電力	kWh	121,161	143,997	151,243	140,465	150,112	157,386
ガソリン	L	37,076	35,424	38,705	39,284	40,015	45,066
軽油	L	82,096	76,228	84,130	78,997	67,054	67,458
廃棄物排出量							
一般廃棄物	kg	9,476	9,628	7,278	6,584	6,364	5,304
産業廃棄物	t	99.7	259.7	161.8	182.7	297.3	307.1
水使用量	m^3	639	682	657	588	568	525

※化学物資は使用しない

※2024年度よりダンボール、紙の把握量に変化あり。

□環境経営目標及びその実績

（1）中長期目標

項　目 ＼ 年　度		2018年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
Ⅰ．二酸化炭素排出量合計	kg-CO_2	338,292	328,143	326,452	324,760	323,069	321,377
	対基準		△3.0%	△3.5%	△4.0%	△4.5%	△5.0%
電力使用量削減	kWh	121,161	117,526	116,920	116,315	115,709	115,103
	kg-CO_2	40,468	39,254	39,051	38,849	38,647	38,444
	対基準		△3.0%	△3.5%	△4.0%	△4.5%	△5.0%
ガソリン使用量削減	L	37,076	35,964	35,778	35,593	35,408	35,222
	kg-CO_2	86,016	83,436	83,006	82,576	82,146	81,716
	対基準		△3.0%	△3.5%	△4.0%	△4.5%	△5.0%
軽油使用量削減	L	82,096	79,633	79,223	78,812	78,402	77,991
	kg-CO_2	211,808	205,453	204,394	203,335	202,276	201,217
	対基準		△3.0%	△3.5%	△4.0%	△4.5%	△5.0%
Ⅱ.一般廃棄物削減	kg	9,476	9,192	9,144	9,097	8,778	9,002
	対基準		△3.0%	△3.5%	△4.0%	△4.5%	△5.0%
産業廃棄物削減	t	99.7	96.7	96.2	95.7	95.2	94.7
	対基準		△3.0%	△3.5%	△4.0%	△4.5%	△5.0%
Ⅲ.水使用量削減	m^3	639	620	617	613	610	607
	対基準		△3.0%	△3.5%	△4.0%	△4.5%	△5.0%
Ⅳ.環境に配慮した製品の販売	枚	69,889	76,179	76,878	77,577	78,276	78,975
	対基準		+9%	+10%	+11%	+12%	+13%

注1）　電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2018年度関西電力調整後排出係数の0.334kg-CO2/kWhを使用。

注2)化学物質は、使用していないため、目標設定から除外します。

注3)環境に配慮した製品とは、光触媒の外壁製品（ケイミュー(株)製の光触媒の外壁「光セラ」等）です。

（２）2024年度実績

項目 ＼ 年度		2018年度	2024年度 (2024年1月～2024年12月)			
		基準年度	目標	実績	達成度	評価
Ⅰ．二酸化炭素排出量合計	kg-CO_2	338,292	326,452	331,159	98.6	△
	対基準		△3.5%			
電力使用量削減	kWh	121,161	116,920	157,386	74.3	×
	kg-CO_2	40,468	39,051	52,567		
	対基準		△3.5%			
ガソリン使用量削減	L	37,076	35,778	45,066	79.4	×
	kg-CO_2	86,016	83,006	104,552		
	対基準		△3.5%			
軽油使用量削減	L	82,096	79,223	67,458	117.4	○
	kg-CO_2	211,808	204,394	174,040		
	対基準		△3.5%			
Ⅱ．廃棄物排出量						
	対基準					
一般廃棄物削減	kg	9,476	9,144	5,304	172.4	○
	対基準		△3.5%			
産業廃棄物削減	t	99.7	96.2	307.1	31.3	×
	対基準		△3.5%			
Ⅲ．水使用量削減	m^3	639	617	525	117.5	○
	対基準		△3.5%			
Ⅳ.環境に配慮した製品の販売	枚	69,889	76,878	85,207	110.8	○
	対基準		+10%			

注）評価欄にて、○：達成（達成度100%以上）、△：やや未達成（80%～100%未満）、×：未達成（80%未満）

□環境経営計画の取組結果と評価、及び次年度の環境経営計画

◎よくできた　○ままできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評　価（結果と今後の方向）
二酸化炭素排出量の削減		（目標やや未達成）、次年度も左記項目を継続する
・電気、ガソリン、軽油等のエネルギー使用量削減	△	目標未達成。内容は以下のとおり。
電力使用量の削減		（目標未達成）、次年度も左記項目を継続する
・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	△	猛暑や厳冬の影響、また残業によりエアコンの使用量が増加した。消灯に関しては今後も継続的に時間に関係なく人のいない場所では消灯を心がけるようにしていきます。
・節電運動の継続	○	
ガソリン使用量の削減		（目標未達成）、次年度も左記項目を継続する
・エコドライブの継続	△	改善の余地はあるが、徐々に取り組めているので、引き続き努力
・エコカー（ハイブリットカー）の随時導入	○	ハイブリッドカーやリッターカーの導入により減少
		営業等による移動距離増加。
軽油使用量の削減		（目標達成）、次年度も左記項目を継続する
・エコドライブの継続	○	目標達成。今後もエコドライブや移動の効率化を継続する。
・急加速の抑制	○	目標達成。今後もエコドライブや移動の効率化を継続する。
一般廃棄物の削減		（目標達成）、次年度も左記項目を継続する
・分別によるリサイクルの推進	○	分別・リサイクルが進んでいる。
・一般ごみの最小限化	○	把握量に変化があった。
産業廃棄物の削減		（目標未達成）、次年度も左記項目を継続する
・分別によるリサイクルの推進	○	※分別が進んでいますが、サイディングなど、材料が少し余った分は、以前は倉庫に保管していたのですが、結果、使用せずまとめて廃棄していた分を、都度廃棄している物がありますので、増加しております。 ※業務の増加、本社倉庫の荷物を処分した為大幅に増加
水使用量の削減		（目標達成）、次年度も左記項目を継続する
・節水の周知徹底	○	節水意識の向上。駐車場散布の削減。
・清掃時・手洗い時の節水	○	節水意識の向上。
環境に配慮した製品の販売		（目標達成）、次年度も左記項目を継続する
・販売実績枚数の目標値の達成	○	継続して増やしていきたい

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制等は次の通りである。

適用される法規制等	遵守すべき事項	評価
廃棄物処理法	委託基準・保管基準の厳守、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出、マニュフェストの管理	遵守
自動車NOｘ・PM法	適合ディーゼル車の使用	遵守
オフロード法	基準適合車輌の利用	遵守
特記仕様書等	行政からの指示によるもの 濁水処理、振動・騒音・砂塵、下流の水利権、建設副産物の処理について	遵守
建設リサイクル法	法に基づく説明、対象工事の請負契約に係る書面を作成して監督員の確認を受けて提出	遵守
消防法	消火器等設置及び定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の登録改修業者による適切な回収	遵守
	フロン類使用の業務用冷凍空調機定期点検・記録、漏えい防止等	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去３年間ありませんでした。
また、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し･指示記録

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んでまいりました。

今年度は、電力使用量、ガソリン使用量が未達成となりました。換気や猛暑等の気候による電気使用量の増加、業務量によるガソリン使用量の増加が原因と考えられます。環境教育を行い、削減活動に取組みます。
住宅メーカーも環境配慮製品の使用が多くなっており、環境配慮商品の販売も順調に伸びています。

一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理も徹底しており、今後もさらに高い意識を持って取り組んでいきます。

引き続き、全社一丸となってエコアクション２１に取り組んでまいります。

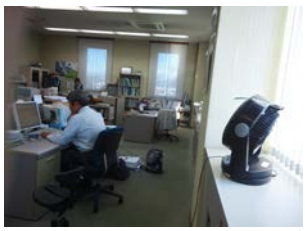
項目	変更の要否	変更内容
環境経営方針	否	－
環境経営目標	否	－
環境経営計画	否	－
実施体制	否	－

見直し実施年月日　　2025/3/10　　代表取締役　　廣瀬　忠士

環境対策・省エネ・安全への取り組み

※これまでの取り組み

時期	内容	目的・効果・その他
2013年度以前より取り組み	ごみの分別（ペットボトルキャップ回収、プルタブ回収）	
	全社一斉清掃・周辺清掃も含む	6月、12月
	車両清掃・点検	毎月1回
	本社・神戸支社・大阪営業所テレビ会議システム	
2013年度	本社倉庫屋上に太陽光パネル設置	
	AEDの設置	
	環境省「低炭素社会推進運動」への参加を申請	
	電気使用量の随時チェック（節電王子）の導入	電気使用量の抑制
2014年度	夏場サーキュレータ導入（姫路3台、神戸2台）	空調UP
	本社倉庫屋上に太陽光パネル増設	再生エネルギー・発電量従来の2倍
	本社ブライドの更新	熱交換減少→空調UP
	本社南側窓　UVカットフィルム施工	熱交換減少→空調UP
	エコアクション推進委員会議設置	3か月に1回程度開催
2015年度	本社西側 新駐車場整備	
	本社 フロアLEDに取替え	電気使用量の削減
	神戸 LEDに取替え	電気使用量の削減
2016年度	車両を入替　小型車3台、トラック2台	燃料使用量削減
	本社トイレの更新	水道使用量削減
	本社自動販売機の入替	電気使用量の削減及び災害時対応
2017年度	本社電話入替	業務の効率化・電気使用量の削減
	本社エアコン入替	電気使用量の削減
	本社（一部）LED取替	電気使用量の削減
2018年度	車両を入替　トラック2台	電気使用量の削減
2019年度	コピー機入替（本社4台、神戸2台）	燃料使用量削減
	車両を入替　ハイブリット車2台・トラック8台	
2020年度	在宅用ノートPC導入	燃料使用量削減（通勤）
	車両を入替　トラック6台	燃料使用量削減
	加湿器、非接触型体温測定器導入	新型コロナ対策（社員健康維持）
2021年度	車両入替　トラック3台	燃料使用量削減
	車両購入　ハイブリット車1台	燃料使用量削減
2022年度	エアコン入替（2階西側、3階東側）	電気代削減
	車両を入替　トラック3台	燃料使用量削減
	車両の購入　ハイブリット車1台	燃料使用量削減
2023年度	エアコン入替（2階東側、3階西側）	電気代削減
	車両の入替　トラック3台、ハイブリット車1台	燃料使用量削減
	リモート会議のテレビ設置	
	エアコン入替、照明設備のLED化（神戸支店）	電気代削減
2024年度	エアコン入替（3階会長室）	電気代削減
	車両入替（トラック1台、ハイブリッド車4台）	燃料使用量削減
	非常灯の更新（LED化）	電気代削減

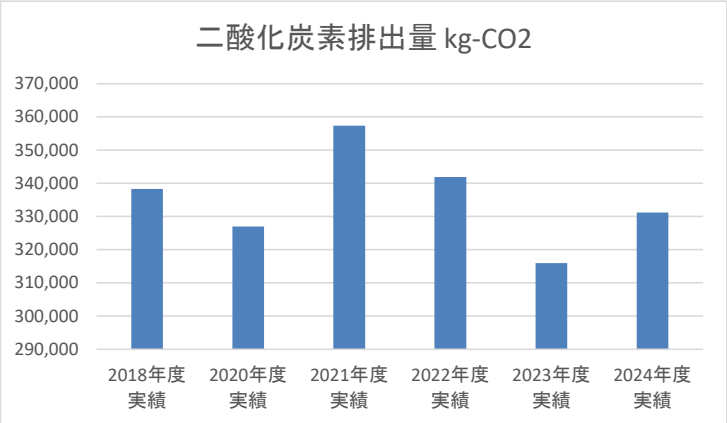


2014年　本社　サーキュレーター導入

2013年より分別の追加

2014年本社　UVカットフィルム・ブラインドの更新

2013年設置、2014年増設後　本社倉庫屋根のソーラパネル

2015年駐車場緑化整備

2024年　非常灯の更新